

JUNGIDO

『遵義の桜、さらなる開花』

1898 =  = 2004

CONTENTS

巻頭エッセー	1
同窓会入会にあたって	1
平成16年度総会のお知らせ	1
京大特別公開講座	2, 3
新旧学校長挨拶	3
周年記念同窓会報告	4, 5, 6
周年記念同窓会予告	6
OB短信・寄稿	6
会費納入のお願い	6
新校舎改築着工へ	7
会計中間報告・総会提出議案	7
膳所高NEWS	8

滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人/宇野 勝
 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会
 大津市膳所2-11-1
 TEL077-524-4295・FAX077-524-1732
 発行日/平成16年4月15日
 編集人/広報部会・山田 勲
 印刷/有限会社服部印刷所

VOL.21

巻頭エッセー

膳所高校に感謝

昭和29年卒 前京都大学総長
 長尾 真



高校時代の思い出といえば、第一に名校長だった林校長先生であります。冬の冷たい風が吹き抜けるぼろぼろの体育館で遵義堂の精神、杉浦重剛の教育精神を何度も聞いたことを思い出します。具体的な内容は憶えていませんが多感

だった私に与えた影響は大きなものであります。今もそうですが、当時の膳所高の先生方は本当にすばらしい方々ばかりでした。数学の田中利一先生、京大文学部出たての国語の山本利達先生の王朝文学の朗読と解読の学問的雰囲気、また一般社会の高田達先生が毎日一冊岩波新書を読んでいると言われたことなど、今も印象に残っています。理科の八耳順朗先生が「これは良い本だからお前読め」といって奉天三十年という岩波新書を下さって、夢中になって読んだのを懐かしく思い出します。これは後年二度三度読み返しました。3年で担任して下さった北条先生や私の属していた科学班の元藤先生、三輪先生、また物理の馬杉・岡田両先生にも随分とかわいがって頂きました。物理・化学・地学の3班で毎年夏休みに共同で琵琶湖の膳所城跡から唐橋の間の水質調査をしたのもすばらしい思い出です。流速、水深、水温、透明度、それから水を採取してきて有機物やいろんな物質の含有度を化学分析する仕事です。湖岸には当時漁を生業とする家があって、そこで和船を二三艘借りて漕ぎ出し100メートル四方くらいの格子目の数十の点で上記の計測をするのです。今で言えば琵琶湖の水質調査、環境調査を昭和26、28年頃にやっていたということになります。和船の漕ぎ方も巨くなり、大いに泳ぎました。

クラス対抗の水泳大会が毎年あり、私は平泳ぎに出ていました。ある年の水泳大会で、泳いだ後プールサイドでぼんやりと立っていると、確か体育の前川先生だったと思いますが、「ちよつと」と私を陰に呼んで、「お前そんな姿勢でいると肺病か何かになるぞ、胸を張ってしゃんとしろ」とおっしゃいました。それではと気がついて、それ以後今日までちゃんと前を向いて姿勢を正しくするように心がけて来ました。これは私の人格をしっかりとしたものとするのに随分役立ってききましたし、これまで病氣らしい病氣をしなかつたのはあの時先生が注意して下さいました御蔭と今も感謝しております。在校中に注意されたもう一つのこととも忘れられません。どう言う事であったかすつかり忘れてしまっていますが、英語の村田先生に「人間は約束を守らな」といのかのだ」と言われた事があります。

クラス対抗のボート大会も毎年あって、瀬田川で漕いだのも懐かしい思い出です。これを京大のボート部の人達が知って、昨年の秋、京大総長を終えるのを記念して京大ボート部OBの方々が私を瀬田川の京大艇庫に招待してくださって、エイトで石山寺あたりまで漕がせて頂きましたが、すばらしかった青春時代がまざまざと記憶に甦ってきました。当時の膳所高校は先生もすばらしかったし、生徒も自由な雰囲気をもつてのびのびと勉強やスポーツをやったという本当に良い時代でした。膳所高は私の人生の基礎を作ってくれたといっても過言ではありません。昨年京都大学が膳所高校に連携講座を開設し、膳所高校生に大きな刺激を与えたのも、膳所高出身の京大の先生方の総てがこのような感謝の気持ちを持っていたからでありましょう。感謝、感謝!!

新入会員



同窓会入会にあたって

平成16年3月卒業
 清水 健 司

思い起こせば3年前の春、私はこれから始まる高校生活に期待を膨らませていました。そして今、平成16年4月、同窓会の新入会員を代表し、この文章を書いていきます。膳所高校で過ごした3年間というのは、本当に短かった気がします。しかし、そのことは同時にこの3年間がとても充実したものだったということを示していると思います。授業においてはもちろんのこと、その他の学校生活全てにおいても、そう言い切れると感じています。中でも私は膳所高生の代表である生徒会長という大役を任せられました。もちろん1学年11クラス、

1300を超える生徒全員の協力を得て、湖風祭(学園祭)やスポーツ大会といった学校行事を運営するのはとても難しいことでした。しかし、そのような中で「人間」として大きく成長した気がします。現在、社会で活躍されている先輩方も膳所高校で過ごされた日々が、人生の大きな礎になっていると思います。話を同窓会に戻しますが、今春、私たちが入会を許していただこの同窓会の一員となるには、まだまだ未熟であることを痛感しています。今後はその名に恥じぬよう精進しようと思っております。今後の御指導を宜しくお願いします。

本年の総会は5月16日

平成16年度 総会のお知らせ

滋賀県立膳所高等学校同窓会平成16年度定例総会を左記の要項の通り開催いたします。多数の皆様方のご出席をお願い申し上げます。

平成16年度 定例総会

- 日時 平成16年5月16日(日)午前10時開会(午前9時30分受付開始)
- 場所 琵琶湖ホテル 大津市浜町2-140 TEL 077-524-7111
- 議事 ・平成15年度会務報告
・平成15年度会計報告並びに会計監査報告
・役員選出 会計監査1名
・平成16年度事業計画並びに予算案
・その他
- 記念公演 「血管の老化と心臓病・病気のつきあい方と治療の進歩」
講師 本原 征一郎 氏 (昭和35年膳所高第8回卒 滋賀県立成人病センター院長)
- 懇親会 (懇親会にご出席の方は、当日受付にて) 会費6千円を頂戴いたします。

講師プロフィール



1941年京都生まれ。1960年膳所高校卒業、1966年京都大学医学部卒業。京都大学で循環器病学の臨床修練、研究の後、1975年から滋賀県立成人病センター勤務。2003年からは病院長として、病院運営と経営に奮闘中。

講演の主旨

血管の老化は狭心症や心筋梗塞などの心臓病の原因となり、私たちの健康をむしばみます。心臓病は予防できるのか、治療法はどこまで進んでいるのか、どうすれば健康を取り戻すことができるのか、私の病院の現状をまじえて紹介させていただきます。

京都大学の
公開講座について

宮川 誠
高次連携担当

平成15年度から、膳所高生を対象とした京都大学の公開講座が始まりました。最近では、多くの高校で同じような高大連携が行われていますが、膳所高校と京都大学の高大連携は、京大総長と膳所高校長の間で協定書を取り交わしたものであること、実施場所が高校ではなく、京大キャンパスであること、平日の金曜日の放課後に一年間にわたって行うものであることなどの特徴があります。

持って進路選択ができるようにしてやりたい、そして高校での学習や大学進学へのモチベーションを高めていきたい、などをねらいとして、膳所高校OBの先生方を中心に講義をお願いして回りまわした。担当の教員にとりましては、まるで営業活動のような慣れない研究室回りの繰り返しだったので、お忙しい中を、膳所高校生のためならばと引き受けてくださる先生が多くおられ、当初の予定以上の講座を設けることができました。

これらの講座の中には、例えば「ネスミの解剖実習」や、ノーベル賞を受賞された田中耕一さんのつく



膳所高校の京大ライフ

好評で前期終了

豊前所高(大津市)と京都大学の連携授業で、膳所高校生向けの特別講座が京大に開設され、前期の授業が終了した。文部科学省によると、高大連携は全国で進むが、大学から講師を招く例が多く、高校生が大学に通うのは珍しいという。講座を受ける生徒はもともと、引率の教員からも「面白がり、刺激になる」と好評だ。

「勉強になる」
引率の教員も
全講義「出席」

計12回の通学



6月20日午後4時半、例会会議室に、特別講座13人が入った。担当は膳所高校の総合教員4名、生命科学Aの受講生は豊前・林豊隆(豊前)の2名だ。大田伊久雄(豊前)は、前期の授業を終った。文部科学省によると、高大連携は全国で進むが、大学から講師を招く例が多く、高校生が大学に通うのは珍しいという。講座を受ける生徒はもともと、引率の教員からも「面白がり、刺激になる」と好評だ。

豊前所高(大津市)と京都大学の連携授業で、膳所高校生向けの特別講座が京大に開設され、前期の授業が終了した。文部科学省によると、高大連携は全国で進むが、大学から講師を招く例が多く、高校生が大学に通うのは珍しいという。講座を受ける生徒はもともと、引率の教員からも「面白がり、刺激になる」と好評だ。

7月3日朝日新聞朝刊 (一部紙面レイアウトを変更させていただいています)

「次はどんな講義が聞けるのかな」
2年3組 増 森 彩 香

毎回講義が終わるたびに、「つやがり終えた」という充実感と解放感、そして次の講義に対する期待が胸がいっぱいでした。

高校2年の4月から私は京大公開講座の「生命科学Aコース」を受けていました。好奇心と興味本位で公開講座を受け、このコースを選んだのも、関心のあるものが多かったから、という簡単な理由でした。

講義の中で先生方は、講義の内容に関する資料を下さったり、実験のことを詳しく話して下さったり、その場で一緒に実験をさせて下さったり、見学させて下さったりと、私たちが少しだけでもわかりやすいように様々なことをして下さいました。ただ、学校の授業の選択の都合もあって、正直私には少しわかりにくいところもありました。

講義を受けてよかったと思うことは、私は今、文系のクラスにいるので、将来の進路などに直接影響することはありませんでしたが、それでもこの講義を受講したことにより、多くの知識を得ることができた、という点と、「京都大学ってこんな感じなんだ」という空気を感ずることができたことです。

また、図書館や新しくできた資料館を利用することもでき、何よりうれしかったことは、学食をたくさん食べることができたことです。安いし種類も豊富でおいしかったです。

公開講座は一日大学生活みたいです。

「自分」の目や手で「実際」に体験すると、学校で机に向かって座っていても湧いてこない質問がどんどん出てくるものです。私はこれこそが公開講座の一番価値のあるところだと思っています。学ぶのも楽しいものも興味があつてこそできることです。そのきっかけを私たちが一番近い大学で、そして自分の最も興味をもった事を今、実験しておられる先生方に詳しく講義してもらおう事で見つける事ができました。私は今回参加することで、新鮮なきっかけを楽しみながら得られた事がとても嬉しく思っています。このような体験を実現して下さってありがとうございます。また、京都大学の先生方がありがとうございます。



たいな感じでも楽しかったです。これは今回で終わらず、後輩たちもぜひ参加してほしいと思います。

大学に触れてみて

2年4組 山 本 美 和

「大学」とは一体どんなものなのか? 高校生である私たちにとって「大学」とは最も近いものであり、将来にも影響を与えるであろうものなのです。しかし今はオープンキャンパスなどごく限られた中でしか私たちは大学に接する機会がありません。今回の公開講座はこのような問題を解決してくれるものだったので、思いが起きました。

公開講座では、普段教科書やテレビでしか見た事がない実験を自分の目で見たり、模擬的に自分の手で行ったりすることができました。また、その時疑問に思ったことを直接先生に聞くことができました。

「限定」「初」の言葉に引かれて

2年4組 横井川 美佳

「京都大学で講義を受けられる。全国初の試み。膳所高校限定。」一番最初に配られたプリントには確かそのようなことが書いてあったような気がします。「限定」「初」という言葉に敏感な私は、すぐにこの試みに参加しようと思いました。

四つのコースがある中で、私は「エネルギー科学と社会環境コース」を選びました。なぜこのコースを選んだかという点、その当時まだはつきりとした進路を決定しておらず、できるだけ自分が経験したことがないような内容について学びたかったからです。また、エネルギー科学研究科という、京都大学にしかない大学院研究科の先生方に講義が受けられることも魅力でした。

「エネルギー科学と社会環境コース」では主に、人類が現在悩まされているエネルギー問題と環境問題について学びました。「どうすればエネルギー

「恕」と「克己心」



校長 大崎悦男

39年ぶりに懐かしい膳所高校に戻ってまいりました。思い出せば昭和40年3月の卒業以来ということになりました。膳所高校を離れておりました間、私にとつての母校は、高校教員として勤務する学校でありました。その間膳所高校は目標であり、時にはライバルであったりもしました。そんな中、この同窓会報「遵義堂」は、私に真の母校の情報を伝えてくれる懐かしい便りになっていました。

「私は十数年前、県の教育長交代で退任と着任の挨拶を聞く機会に恵まれた。退任の挨拶は論議の「恕」であった。当時は「さすがに元国語の先生」と話に感心した記憶だけがある。しかし、元教育長が自分の言葉で語られたこの言葉はさすがに重みがあるもので、いつの間にか私の座右の銘となり、先生方や生徒たちなど大勢の前で話す時によく使うようになっていく。この3月に総合教育センターの広報誌にこのような文を載せました。(教育長は恩師)

他を思いやる心は、あらゆる人間関係において最も大切なことであり、知・徳・体の調和のとれた豊かな心を育てることが学校教育の重要課題である。今日、教育の場で常に「恕」の理念を伝えていきたいと願っております。さらに、生徒たちには、ややもすれば安易な方向に流れようとする自分に打ち克つことが大切であると、「克己心」について訴えてきました。

「文武両道」を校是とし、「人としての有様を求めよ」と説き、「努力せよ」と諭す「遵義力行」の校訓は、私が訴えてきたことと共通するものと自分なりに納得しています。膳所高校の校長に就任しまして、この校訓のもと、教職員すべてが心をひとつにして日々の教育活動に邁進し、先輩方の遺された伝統を受け継ぎ、さらに発展させるべく励む覚悟をしたところです。つきましては、同窓会員の皆様温かいご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

退任ご挨拶

校長 西岡宏堂

平成13年4月、伝統ある膳所高校の校長として身を引き締まる思いで着任いたしました。が、はや3年が過ぎてしまいました。よき歴史と自由な校風を引き継ぐことの重大さに、息苦しいほどの緊張を感じる毎日でしたが、学校生活を明るく楽しそうに過ごす、素直な生徒たちに囲まれた毎日は充実していました。将来の日本のさまざまな分野で指導力を発揮していく可能性を持つ膳所高校に、機会あることに話してきたことは、高校生活で目標を持ち、その目標を達成するための計画を立てよう。そして、まず一步を踏み出さないと始まらないということでした。言い換えれば、志を持ち遵義力行の精神を実践しようということでした。

校舎改築が私に課せられた大きな仕事でありましたが、承津頓宮の発掘により約2年工事が遅れてしまったのが残念です。校舎は、現在のグラウンドに4階建てのコの字型で新築され、併せて武道場とプールが2階建てで改築され、校舎の取り壊し後、グラウンドが整備され、改築の完成は19年3月の予定です。整った教育環境の下で勉学に勤

むことが可能となります。改築に関しましては今後何かとご協力をお願いすることになります。よろしくお願いいたします。

学校完全5日制が始まり、新しい教育課程のもと卒業生のご協力を得て土曜日には「自習室1石鹿セミナー」を開設し、また教員による「学習セミナー」「Zプログラム」を開講し授業時間数の削減に対処してきました。

今日、高等学校の教育が社会の変化に合わせて改革することが求められ、特に公立高等学校は存続の危機にあります。その中であって、膳所高校が自由な校風と文武両道のよき伝統を固持していただくためには、同窓会会員の皆様や地域の皆様のご理解とご支援が大切であります。同窓会のみならず、ご発展と会員の皆様のご健康を祈念いたしましてご挨拶いたします。



印象に残った「おもしろさの秘密」

2年11組 池田もも

去年、一年を通して、京都大学の公開講座に参加しました。回ごとに違う教授が、大学で実際に教えておられる各専門分野のお話を下さいます。生命科学Aコースは農学部、薬学部の講義を受けました。高校生にも理解出来るように極力難しい言葉を使わずに、写真や絵を用いてわかりやすいように工夫して下さいました。又、実際に研究しておられる部屋を見学させてもらったり、器材を使わせてもらったり、高校では出来ないような貴重な体験を沢山させて下さいました。農学部食品化学科ではおもしろさの秘密と題して、カ



レはなぜおもしろいのかについての話をされました。なぜカレが面白いかなんて考えたこともなかったけれど、話を聞いていくうちになるほどという感じがしました。講義後の質問タイムでも教授と活発な話し合いになり、とても楽しく、勉強になりました。また、薬学部ではラットを使って薬が体中いきわたっているかという実験を見学しました。大学では、知った事を確かめる実験だけではなく、より進んだ臨床的な実験にも挑戦出来るのだと思いました。私達高校生からすれば大学というのは漠然としたイメージしかなかったのですが、今回の講座に参加したことで、自分がどんな学部に行っても、どんなことを学びたいのかということの参考になりました。

新鮮な喜びや快感を味わう

2年11組 瀬野万里子

勉強をする意味はどこにあるのだろうか。毎日予習に追われているような生活の中で、私はこんな疑問を抱いていた。しかし、公開講座を受講してみて少しその答えが分かった気がする。講座の内容はとても身近なことから専門的なことまで多種多様であったが、学校で学んだ知識を活用することで、現在も尚研究が進められているような事例を少しではあるが、理解できた。そこには新鮮な喜びや快感があった。

公開講座をご担当いただいた京都大学の先生方からの感想

- 一、自分の後輩にあたる膳所高校と触れあう時間が持てたことは幸せなことでした。受講生の何人かでも、研究内容に興味を持ってくれたとすれば、十分に公開講座の意義はあったと思っております。
- 二、科学の基礎的な部分を専門家以外の人達にも分かってもらうことの重要性を再認識しました。また若くて感受性の豊かな学生さんとの交流は自分自身たいへん刺激になりました。
- 三、県内有数の進学校であるため生徒の学力が高いこともありますが、想像以上に大学における教育・研究への関心を持っていることを知りました。
- 四、大学生や院生の講義にはない新鮮さを感じた。講義だけでなく実験装置や練習なども含めた形態が必要であることが、準備の時間、場所の制約もあり今後検討していきたい。
- 五、自分の子供より若い世代の高校生を相手に講義することは、気分が若く返って大変刺激的でした。自分の専門分野を若い高校生諸君に興味をもって受講してもらえれば心配だったが生徒さんには大変熱心に聞いてもらえたようでした。

この公開講座は、本校O日である長尾 真前校長のご理解のもとに計画されましたが、実際に各講座をご担当いただいた先生方も全てO日の方で、開催費用の一部も同窓会計より学校助成金として支出していただき、真に膳所高校の力を結集した事業であったことを附記させていただきます。

周年記念同窓会

25周年記念同窓会

(膳所高26回・昭和53年卒業)

平成15年8月9日(土)、膳所高26回卒業生の卒業25周年記念同窓会を開催しました。この貴重な機会にと、改築が予定されている校舎の見学を学校にお願いしたところ快諾していただき、さらに山口茂先生(英語)、谷元峰男先生(生物)が授業をしてくださることとなりました。参加した37名の同窓生は、懐かしい教室で「当てられたらどうしよう」とドキドキ、気分は詰襟、セーラー服の高校生へとあつという間にタイムスリップ。岡先生がこの日のために準備してくださった熱意あふれる授業に聴き入りました。同窓生で現膳所高校教諭の小倉啓嗣さん、奥村美津子さんの協力あってこそ実現した楽しい企画でした。



その後、会場の琵琶湖ホテルへと移動し、こちらには13名の恩師の方々と86名の同窓生が集いました。西岡宏堂現校長先生にご祝辞を、松山義夫先生に乾杯のご発声をいただき、賑やかに開宴となり、あちらこちらで歓談の花が咲きました。卒業から25年を迎えて、そろそろ人生の折り返し地点を過ぎ、忙しさに流されがちな日常の中でも、今までは見えていなかったことにふと気づいて立ち止まる、という経験をすることも多いのではないのでしょうか。そんな時期に、多感な季節とともに過ごした仲間たちの現在の生き方に触れたり、人生の先輩として、充実した日々を送っている先生方の姿を拝見したりして、「元気をもらったのは、きっと私だけではないはず。ご出席いただいた皆さま、素敵なお話をありがとうございました。

10周年、20周年、そして今回と、続けてお世話いただいた幹事の方々、本当にお疲れ様でした。次回30周年同窓会は、平成20年8月頃に開催の予定です。同窓生の皆さん、住所変更の際は次回幹事のメンバーである小倉啓嗣さん(膳所高校)までご連絡をお願いします。また今回の幹事総意により、会計残高の一部を、寸志として膳所高校にお贈りしましたことを、ここに報告いたします。(林典子)

35周年記念同窓会

(膳所高17回・昭和44年卒業)

さる1月3日(土)、草津のホテルボストンプラザにおいて膳所高17回卒業生35周年記念同窓会が、恩師南池宜樹先生、布留川祐作先生のご出席の下、113名が出席して盛大に行われました。

30周年の同窓会に続いて5年ぶりの同窓会となりましたが「あなたに会いたい」同窓会テーマの下、遠くからはアメリカからの参加もあり、久しぶりの再会に隣りに3時間が過ぎたままです。

齢50を越え、少し白髪が混ざったり、薄くなったたり、あるいは定年も近くなったり、同級生。紅顔の美少年美少女だった頃のお互いの顔を思い出し重ね合わせながら、それぞれが来た道・人生に思いを馳せながらの楽しい同窓会となりました。二次会はエストピアホテル25階のスカイラ



ウンジにて約80名の参加で、またさらにカラオケや居酒屋での幾つかにグループに別れての三次会と、いつまでも名残りの尽きない楽しい一日でした。(笠正人)

35周年記念同窓会

(膳所高16回・昭和43年卒業)

去る1月2日琵琶湖ホテル瑞穂の間で膳所高卒業35周年同窓会(昭和43年卒)を開催。当日は恩師5先生を含め約80名余が集会。全学年が集まるのは30周年以来、5年ぶり。乾杯が済み、各テーブルごとの懇談になると、たちまち35年間にタイムスリップ。いずれも組織の美少年・美少女に大変身、当時の思い出話をはじめ、こうなったら酒の勢いもあつて、いつまでたつても尺さることはない。あつという間に予定の時間は過ぎる。勿論これで終わるはずもなく、隣のカラオケルームへ。そして又……。正月早々午前様になった級友は沢山あつたに相違ない。

さて、我学年は周年同窓会以外に様々な理由をつけて集まっています。例年1月2日は川瀬君(077-56415678)の幹事で飲み会を大津市で、お盆前は勝見君(077-57810019)の幹事でゴルフ大会(ゴルフをせずに飲み会だけの参加者も多い)、関東では倉田(旧姓堀井)さん(03-377614838)の幹事でゴルフと飲み会(関西からも遠征、合流)をそれぞれ行っている。上記以外にも様々な理由をつけて集まっている。上記以外には同窓会事務局へ(同窓生の井上(旧姓八田)さんと中尾(旧姓柳田)さんがいて連絡をとってくれる?)、チョコッと寂しくなったり、昔が懐かしくなったら遠慮なく上記の人たちをそのかして、「集まろう」の一声を、すぐに雨後の筈よろしくあちらこちらから手が挙がること請け合いです。(新川均)



40周年記念同窓会

(膳所高11回・昭和38年卒業)

平成15年11月2日(土)16:00より膳所高第11回卒業

生(昭和38年卒)の40周年の集いが瀬田ロイヤルオークホテルで、5名の恩師をお迎えし、同窓生118名の出席で盛大に開催されました。かつてその美声で全校生徒を魅了した放送部の荒谷(旧姓重野)雅美さんの司会で幕を開け、祝辞(松山先生)、乾杯(南池先生)により開宴となりました。今回はできるだけみんなの歓談の時間を多く抽こうということ、宴会時の催し物も省略したのがよく、あちこちのテーブルで同窓会初参加の方も交えて、笑い声の絶えない話の花が咲き乱れ、時の過ぎるのを忘れてしまいました。しばらく昔沙汰なしの旧友との再会の話題も、年齢と時世を反映し、体のことや孫のこと、そして退職のこと。また、在学時代には一語も言葉を交わしたことがなくても、まるで旧知のように話がはずみ、新しい縁がでるのも同窓会不思議なところ。そんな中、石塚・鎌田両君による「手打ちそば」も人気が高く、コーナーには終始人だかり。出来映えも上々。お二人ともどうぞも苦労の様子でした。名残りのつきない一次会の後、参加者全員の写真撮影へ。みんな笑顔の輝く記念写真でした。そして97名が二次会へ。職は飾り物で、ここではやはり主役は歓談。話声と笑い声の渦巻く貸切会場はまさに興奮と感動のノスタルジック。夜が更けるのも忘れて、三次会へとエスカレート。青春の真っ只中に戻った楽しい一日でした。プレゼントとして企画した比良登山が天候不順で中止になったのは少々残念で心残りながらも、還暦を間近に控えて「新たな旅立ち」への一歩となる記憶に残る同窓会でした。(小笠原勇)



50周年記念同窓会

(東1回・昭和28年卒業)

平成15年も残り一ヶ月という11月29日(土)、琵琶湖ホテル瑞穂の間に、昭和28年大津東第1回卒業生、185名が、松山義夫先生をお迎えして集いました。

今回の卒業50周年記念同窓会を開催するにあたり学年名簿を整理しましたが、卒業時約530名の同窓生のうち71名という物故者の数に、いかに成長期が戦争に振り回された時代だったとは言えあまりの多さに驚きました。しかし、出席者はいずれも「元氣洗剤」と見えました。

恩師として唯一一人ご出席下さった松山先生のお話に始まり、金管五重奏の演奏にしばし癒しの時を持ち、遠方（北海道）より出席の同窓生の乾杯の発声で宴は開かれました。何十年ぶりの出合いを喜び合い、越し方を語り合うには時間は足りません。お開きの後、2階ロウズの間に場を移し、二次会となりました。プロ級のマジックを披露してくれた同窓生の技と額の汗に一同盛大な拍手。名残りのつきぬまま、又の再会を願いつつ散会。朝からの雨は、感動、感激、興奮も知らず、すべてが終わった夜も降り続いていました。



滋賀県立膳所高等学校
平成15年10月12日 湖畔 旅亭紅葉において開催
（大村 俊文子）

55周年記念同窓会

膳中46回・昭和23年卒業
旧膳所高・昭和24年卒業

平成15年10月12日びわ湖畔 旅亭紅葉において開催、当日は好天に恵まれ、集う学友、遠く関東よりの4名を含め48名、「秋澄み渡る琵琶の水」を面前に「ゆるがぬ永遠の無比叙」を背にし乍ら、戦中戦後の苦難の想い出話に一時の花が咲き、時の流れの移ろいに老いを感じ、館内での二次会を終えた時は、既に夕闇の中、次回の邂逅を楽しみに散会した。



次回の担当は膳所高卒となり、小島晴男・堀田豊両君に引き継ぎ

完了しました。今回の担当は滋賀通学区でした。

（追記）当日参加者に配布したコメント集を後日増刷の上コメントを寄せられた不参加者へ送付しました。尚返信のなかった人でコメント集を希望される人は残部が少しあります。大角光徹まで連絡下さい。

60周年記念同窓会 霜月会

膳中41回・昭和18年卒業

平成15年11月16日(日)、卒業60周年記念同窓会を開催。先ず正午より、瀬田二丁目「雲住寺」において、物故者60名の追悼法要を執り行ない、その後「あみ定」に会場を移し、「霜月会総会および懇親会」を開催。昔話に花を咲かせ、あつと言う間に時が過ぎゆき、午後4時、再会を約しつつ閉会となりました。

なお、物故者追悼法要の費用については、当日の参加者27名はもとより、欠席者50余名の方々より寄進いただいたことを報告し、お礼に代えさせていただきます。



（飯田 勝一）

膳中三七会

膳中37回・昭和14年卒業

平成15年5月24日 琵琶湖ホテル唐崎の間
現在生存せる級友は、40数名で卒業時の約三分の一に過ぎない。本日集いし級友は16名にしてこの一年の間に5名が鬼籍に入り、年を追う毎にその数が増え誠に淋しい限りであるが、東京からは北川・西村（旧姓吉川）の両君、近府県からは河野・手塚・野村の諸君が馳せ参じて呉れる。我々の青春時代は太平洋戦争の最も苛烈な時代で中には軍神として祀られている者もあり、話題はどうしても兵役当時の話しになり語りつきなのである。開会に当たって級友の計報と弔意、又今後の運営について話し合い、更に現在の膳所高校の状況について話しが及ぶと70年前にタイムスリップして恩師や亡き級友のエピソードがあれこれと話題となり、何時果てるとも知れぬ有様なり。先般の

膳所高校同窓会理事會に於ける新校舎建設の話に一同深い関心が集まり、平成17年の完成とすれば、丁度85歳になった時にその新校舎を見る事が出来るのを楽しみに頑張ろうの聲が出る。来年は我々が入学した昭和9年（西暦1934年）から70年の歳月を経ることになり、その機会に物故された恩師や級友の霊を追悼することを取り決め、去り難い状況の中で校歌「春駈蕩の琵琶の湖」「草生す城は」を声高らかに熱唱、三七会の万歳を三唱、折しも前に拡がる琵琶湖には春麗かな日差しを受け、ヨットの白帆が我々の眼を魅ませて呉れたびわこホテル「唐崎の間」からの眺めを惜しみつつ、解散。

膳所高校同窓会理事會に於ける新校舎建設の話に一同深い関心が集まり、平成17年の完成とすれば、丁度85歳になった時にその新校舎を見る事が出来るのを楽しみに頑張ろうの聲が出る。来年は我々が入学した昭和9年（西暦1934年）から70年の歳月を経ることになり、その機会に物故された恩師や級友の霊を追悼することを取り決め、去り難い状況の中で校歌「春駈蕩の琵琶の湖」「草生す城は」を声高らかに熱唱、三七会の万歳を三唱、折しも前に拡がる琵琶湖には春麗かな日差しを受け、ヨットの白帆が我々の眼を魅ませて呉れたびわこホテル「唐崎の間」からの眺めを惜しみつつ、解散。



（清水仙太郎）

三九会 傘寿祝総会

膳中39回・昭和16年卒業

昨年12月3日膳中卒業62年目の傘寿祝総会を瀬田駅前ホテルニューサイチアネックスで23名が集い開催しました。師走とは思えない晴天で暖かく小春日和に恵まれ、滋賀県立近代美術館の常設展示、山元春拳とその師弟企画展示、第57回滋賀県美術展覧会（県展）の作品展示を鑑賞し、暖冬のせいかな楓は紅、銀杏は黄金、はなやかな錦の秋が美しく残る夕照の池と庭園等を散策し楽しい一時を過ごしてホテルに戻る。

物故諸兄のご冥福を祈ると共に旧交を温め今日に至るを互いに喜び合いました。昨年2月に本郷次雄 滋賀大学名誉教授がキノコ研究50年で南方熊楠賞を授賞された記念として出席者全員が色紙にお祝いの言葉を記して心ばかりのお祝いとお祝しました。次期平成16年度代表世話人 大坪武輝君を選出し京都での再会が決議されました。



新生第4回膳中三九会傘寿祝総会

この辺りは、往時の自然がそのままの姿で残されている唯一の場所のような気がして、会場からは瀬田川の絶景が庭のように眺められ懐かしさも一入だった。松山先生のお話は学生時代に聞いた講義のように熱がこもり、その懐かしい音がよかったです。初夏らしい雰囲気彩られた湖魚懐石を美味しく頂きながら、学生時代の気易さで話し合っていると、自然と気分も華やいてきて話がはずみ、瞬く間に予定の時間になり、次回は阪神在住の方にお願いした。五月晴れに恵まれ四季折々に美しい瀬田川の景色が、新緑に映えて一段と爽やかでこの季節ならではの佇まいを愛でながらの級会は素敵で和やかだった。

（井上 かず江、目片 美智子、岡野 友子）

最後は何時もの如く我が校歌「草生す城は城古れど 由緒たふとし「道義」堂……」を熱唱し、再会を期すると共に膳所高校の益々のご発展と校友会各位のご健勝をお祈り申し上げました。

膳中第四三回（4卒・昭和20年卒業）

平成15年11月5日(木) 午後3時より ホテルニューオウミにて開催

先ず記念写真撮影した後、開会の辞に始まり、物故者への黙禱、世話人代表挨拶と続き、早速乾杯、懇親会に入る。お互いの近況報告や思い出話に花が咲き、和気藟々のひと時を過ごした。次回世話人代表の挨拶、膳中校歌を斉唱し、来年京都での再会を約して散会した。



（岩井 典弘）

真珠会（昭和24年卒業・旧大津）

6月3日に第14回真珠会をあんみ定で開催しました。松山先生をお迎えして、京阪神からと地元友連16名が集まり、出席率は3割5分と好成績だった。あんみ定はとりわけ風光明媚なところで、級会は瀬田の唐橋と屋形船をバックに記念撮影から始まった。この辺りは、往時の自然がそのままの姿で残されている唯一の場所のような気がして、会場からは瀬田川の絶景が庭のように眺められ懐かしさも一入だった。松山先生のお話は学生時代に聞いた講義のように熱がこもり、その懐かしい音がよかったです。初夏らしい雰囲気彩られた湖魚懐石を美味しく頂きながら、学生時代の気易さで話し合っていると、自然と気分も華やいてきて話がはずみ、瞬く間に予定の時間になり、次回は阪神在住の方にお願いした。五月晴れに恵まれ四季折々に美しい瀬田川の景色が、新緑に映えて一段と爽やかでこの季節ならではの佇まいを愛でながらの級会は素敵で和やかだった。



（井上 かず江、目片 美智子、岡野 友子）

膳所高7回・昭和34年卒業

恒例の9月第2週の日曜日の14日、私達の校歌にふさわしく絶景の琵琶湖ホテルの間に於て、恩師7名と卒業生60名が、元気に楽しく集うことができた。

さて、在校中3年間担任として大変ご苦労をおかけした北条勇先生の乾杯のご発声のもと、歓談と相成り、いつまでもお若い恩師の方々の素晴らしいスピーチに酔い、にぎやかな雰囲気盛りに上がった。

とりわけ、人生の峠を乗り越えられた恩師の近況の中で、ご自身の健康管理の体験やその工夫が、第二の人生の生きがい、に結びつき、心豊かである事を大きな教訓として受け止めたならばならない。

これからの人生に対して、お互いに知恵を出し合い模索し合い、刺激を求め合う旺盛な好奇心が必要ではないか。いろいろと貴重な意見が飛び交ったのも還暦を過ぎた者同志の心の寄り所である証左であり、連帯感の必要性を痛感した。



下部組織として、ゴルフとハイキングの2つの同好会の仲間100名を要し、春秋の年2回を楽しい企画で開催されているが、この輪を広げることも必要である。

なお、今年の特筆すべき点として、「同窓会公式ホームページ」を活用して情報収集を、インターネットで事前に2度発信し、海外在住や海外駐在で活躍中の方々から、近況報告を頂き、うれしく披露できたことである。また、送迎用リムジンバスに「校旗」を張り付け、JR大津駅にて会場案内をスムーズにしたのが好評であった。

ところで、今回は、45周年記念同窓会であり、丁度卒業25周年に始まった学年同窓会の20年の節目である。この間、毎年継続でき、また、同好会組織を盛り上げてくれ、本部との連携を密にしてくる熱心な頼れる仲間がいることを、この際に銘記したい。

今回の思いを「ありがとうと素直に言える豊かな心、ありがとうを素直に受け入れる豊かな心、……」の詩に託して、口遊みながら、末永く充実した談笑の同窓会を、元気で毎年迎えたい。

(井上 晴雄)

周年記念同窓会 予告

25周年記念同窓会

(昭和54年卒業・膳所高26回)
 日時 平成16年5月4日(火)午後1時~4時
 会場 琵琶湖ホテル(浜大津)
 参加費 一〇,〇〇〇円
 幹事代表 大田伊久雄
 TEL 077-159213077
 E-mail:ikuota@kais.kyoto-u.ac.jp
 幹事会一同

40周年記念同窓会

(昭和39年卒業・膳所高12回)
 日時 平成16年8月13日(金) 15:00~18:00
 会場 琵琶湖ホテル(浜大津)
 参加費 一〇,〇〇〇円
 事務局 服部 章
 TEL 077-152410011

45周年記念同窓会

(昭和34年卒業・膳所高7回)
 日時 平成16年9月12日(日) 午前11時より
 会場 琵琶湖ホテル 大津市浜町2-40
 TEL 077-152417111
 幹事 5組 青地秀樹・岩崎辰雄・川那辺吉成・藤田 智・森井文義
 詳細は追ってお知らせいたします

50周年記念同窓会 東二会

(昭和29年卒業・大津東高2回)
 日時 平成16年10月23日(土) 午前10時半受付
 会場 琵琶湖ホテル(浜大津)
 参加費 一〇,〇〇〇円
 連絡先 蒲生 容仁
 TEL 077-152312435
 FAX 077-152711610

※詳細については8月下旬にご案内いたします。一人でも多くの方にご参加頂きたく、お誘い合せのうえ今からご予約に入れておいて下さい。

事務局一同

55周年記念同窓会 真珠会

昭和24年卒業(旧大津)

日時 平成16年6月9日(木)
 10時40分(JR宇治駅)
 見学 宇治・平等院・世界遺産(平成6年登録)
 会場 花やしき浮舟園(平等院南より東へ300m)
 TEL 0774-2112126
 幹事 卜部季乃・佛性隆子・西田正子

65周年記念同窓会

膳所三七会(昭和14年卒業・膳所37回)
 日時 平成16年4月24日(土)
 11:00~12:00 物故者追悼法要
 12:30~15:00 懇親会
 場所 要/守山市「西蓮寺」
 懇親会/ホテルラフォーレ琵琶湖
 清水仙太郎

OB 短信

拝啓 陽春の候愈々ご健勝の事とお慶び申し上げます。さて、本日は、JUNGI DO Vol.20 を送って頂きました。誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。平素は本意なくもご無沙汰のみご免下さい。同窓会も益々発展し、本年はいよいよ創立百周年を迎えんとしております。誠に御目出度うございます。九十七歳の時、私は、創立百周年の祝宴に参列させて頂き、最高齢者として大へん歓迎され、面目を施し大感心でした。併し、来る5月18日の総会には、誠に残念ながら、老齢の為、歩行が思わしくなく、又、長層も出来ないの出席を見合わせます。係の皆様様に何卒宜しくお伝え願います。

膳所高等学校同窓会 御中
 小島 信三
 平成十五年四月二十日 (大正9年卒・膳所第18回)

寄稿

盆梅の古木は力漲らせ鶴と舞う
 花龍と飛ぶ花
 散る白梅見送る紅梅老木に
 連なり咲きて佳き香漂う
 ピーポッポ汽笛を鳴らしSLびわこ号
 盆梅展の湖北路走る
 芙蓉の寺舎那院に瓦寄進して
 息子と吾の名しるし祈りぬ
 春彼岸滋賀医科大学しゃくなげ会に
 献体申込みしてわれ四年生く

川崎 洋子
 (旧職員)

滋賀県立膳所高等学校同窓会

年会費納入のお願い

平成16年度会費を同封の振替用紙にてご納入いただきますようお願いいたします。

会費は年額 2,000円となっておりますが、5年(10,000円)、まとめてご納入いただければ幸いです。

〔納入機関〕 郵便局 01010-3-30378
 (振替用紙は共通です) 銀行 滋賀銀行 本店 普 913381
 びわこ銀行 本店 普 335940

いずれも名義は、滋賀県立膳所高等学校同窓会
 会長 宇野 勝 です。

**ご理解とご協力を
 よろしく願っています。**

平成14年度から、年会費2,000円、5年分費10,000円に改定されております。

一人でも多くの会員様に納入していただきますようお願い申し上げます。延期されています校舎改築計画が平成16年度から本格化する予定ですので、ぜひとも同窓生の皆様の温かいご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

※新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入金金3,000円のみで、卒業後5年目から会費納入をお願いいたします。

※ご住所等に変更がある場合は振替用紙にその旨をご記入ください。

会費納入ありがとうございました

同窓会会費納入状況

皆様から納入していただきました平成15年度の同窓会会費は、

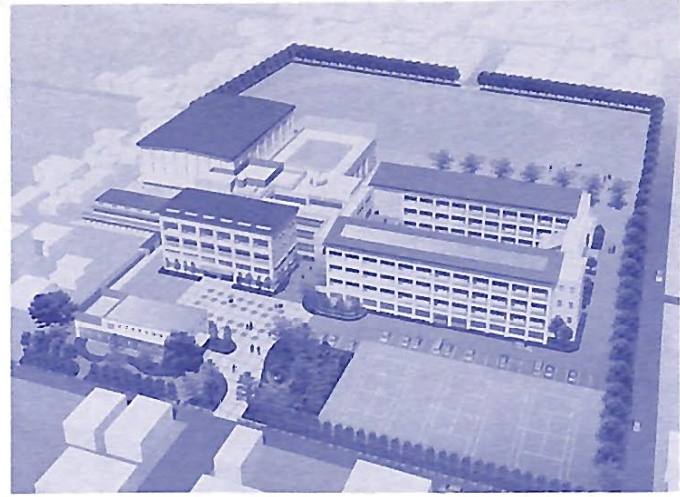
平成16年3月20日現在、

総額 6,889,000円

となっております。

前払いしていただいている方については、当年度分を振替充当して、上記金額に集計させていただきます。特に本年度は、今までに前受会費(5年又は10年会費)を納入していただき、その期限が終了し、平成15年度の会費未納の方々に再度納入のお願いをいたしましたところ多数の方よりご協力賜わり予定どおり達成することができ喜んでおります。会員各位に厚く御礼申し上げます。

新校舎改築いよいよ着工へ



JUNGIDO Vol.20でもお知らせいたしました。一昨年8月埋蔵文化財発掘調査中にグラウンドから木津順宮とみられる奈良時代の建物跡が出土したことにより、一部設計変更を余儀なくされ着工が遅れておりましたが、ようやく本年7月にも新校舎の建築工事にとりかかることになりました。(体育館は改修工事のみとなります。)

新校舎の概要などについては、Vol.19でご報告した通りであります。改めて建物概要をお知らせいたします。なお、完成は平成18年3月を予定しております。その後旧校舎の解体、グラウンド整備を行います。18年4月からは新校舎での授業が始まることとなります。

■建物概要

○校舎棟
鉄筋コンクリート造(一部プレストレスコンクリート造)

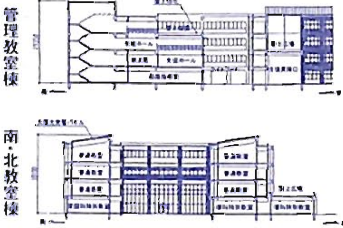
地上4階建て
延床面積 11,465㎡

○管理教室棟、北校舎棟、南校舎棟に分かれる

○体育施設棟
鉄筋コンクリート造

(一部プレストレスコンクリート造)

管理教室棟
南・北校舎棟

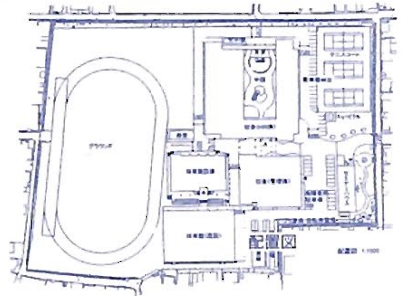


地上3階建て
延床面積 1,039㎡

(武道場、部室、プール、更衣室、便所、教化準備室、器具庫等)

○セミナーハウス棟
鉄骨造
地上2階建て
延床面積500㎡

(管理教室棟、北校舎棟、南校舎棟に分かれる)



同窓会公式ホームページの開設

URL: <http://www.dosokai.ne.jp/zezekoukou>
E-mail: zeze-h-dousoukai@poem.ocn.ne.jp

○開設日 平成15年4月30日

○経費的に専任者をおくことができませんので、同窓会事務局からの情報提供のみとさせていただきます。

○ホームページへのご要望ご意見は同窓会事務局までFAXかお電話でお知らせください。

○ホームページ掲載原稿や写真は同窓会事務局まで郵送またはご持参願います。

(例)記念同窓会(年次別)の案内、クラブ同窓会の案内など

同窓会 会務報告

- 2003年(平成15年)
 - 4月15日 インターネット回線接続
 - 17日 同窓会会計監査
 - 18日 JUNGIDO第20号発行
 - 24日 同窓会役員会
 - 5月18日 同窓会総会
 - 6月30日 総務部会
 - 9月23日 同窓会ゴルフコンペ
- 2004年(平成16年)
 - 1月16日 財務部、総務部合同部会
 - 2月30日 同窓会広報部会(第1回)
 - 2月20日 同窓会広報部会(第2回)
 - 2月21日 同窓会役員会
 - 3月1日 同窓会入会式
 - 3月27日 卒業式
 - 12月1日 同窓会広報部会(第3回)
 - 20日 同窓会理事會

平成15年度同窓会会計中間報告・平成16年度同窓会総会提出議案

平成15年度 同窓会会計中間報告 (H15.4.1~H16.2.29)

一般会計 (収入の部)

項目	金額	H15年度予算	備考
前年度繰越金	6,859,195	6,859,195	
平成15年度会費	2,946,000	3,200,000	会費会計より振替
前受会費	3,491,000	3,491,000	会費会計より振替
同窓会入金	1,305,000	1,320,000	
雑収入	140,936	29,805	寄附、(同窓会より受取利息、タックスレボ代)
合計	14,742,131	14,900,000	

(支出の部)

項目	金額	H15年度予算	備考
総会費	604,308	600,000	
会議費	18,626	200,000	理事会、役員会等
交際費	30,780	70,000	
通信費	610,307	700,000	総会出欠はがき、郵送印刷等
光熱費	46,518	140,000	
旅費交通費	0	120,000	
支払手数料	115,669	140,000	
雑給与	1,132,500	1,500,000	
コンピューター関係費	132,890	100,000	ホームページ制作
事務用品費	60,528	200,000	コピー用紙他
備品・消耗品費	21,565	180,000	ホームページプリンター
広報発行費	929,775	910,000	20号発行
広報発送費	2,329,066	2,300,000	広報発送用紙他
ホームページ運用費	157,500	200,000	ホームページ作成費
周年同窓会お祝い金	240,000	500,000	6学年、お祝い
学校助成金	1,000,000	1,000,000	京大特別助成金他
慶弔費	25,208	80,000	
班活動奨励金	1,000,000	1,000,000	全国大会参加助成金他
各部会費	521,417	700,000	
広報部会費	42,865		
組織部会費	26,080		
事業部会費	325,660		ゴルフ大会案内、賞品代他
財務部会費	94,905		会費納入依頼書代
総務部会費	31,907		
予備費		4,260,000	
合計	8,976,657	14,900,000	

差引現在残高 5,765,474 (=14,742,131-8,976,657)

特別会計 (収入の部)

項目	金額	備考
前年度繰越金	523,836	
利息	4	
合計	523,840	

(支出の部) なし

差引現在残高 523,840

会費会計 (収入の部)

項目	金額	備考
前受会費繰越金	12,937,000	
平成15年度会費	2,946,000	
平成15年度端数会費	34,000	
平成15年度前受会費	2,739,000	
合計	18,622,000	

(支出の部)

項目	金額	備考
平成15年度会費	2,946,000	一般会計へ振替
平成15年度端数会費	34,000	一般会計へ振替
前受会費平成15年度分	3,491,000	一般会計へ振替
合計	6,437,000	

差引現在残高 12,185,000 (=18,622,000-6,437,000)

一般会計現在残高 5,765,474 + 12,185,000 = 17,950,474

名簿会計 (収入の部)

項目	金額	備考
前年度繰越金	8,387,957	
名簿売上金	53,200	
利息	865	
雑収入	3,222,750	名簿作成資料
合計	11,664,772	

(支出の部) なし

差引現在残高 11,664,772

平成16年度 事業計画案 (概要)

会員相互の親睦と教養の向上、母校に対する支援・協力の諸事業を行います。

一昨年はグラウンドから木津順宮とみられる奈良時代の建物跡が出土したことにより、新校舎改築着工が遅れておりましたが、ようやく7月に着工の予定です。

同窓会としましても、今後共支援・協力のできるような努力をまいります。

○総務部会 年次総会・理事会の開催。役員会は必要に応じ開催します。母校との連絡協議を積極的に推進し、又、各部会への協力・支援を行います。

○財務部会 一昨年度から年会費が2,000円に改訂されました。会費収入が減少しないよう納入の促進、財政面の充実に努めます。

○事業部会 学校後援会活動・文化班・体育班への奨励に

平成16年度 予算 (案)

一般会計 (収入の部)

項目	H16年度予算案	H15年度予算	備考
前年度繰越金	5,765,474	6,859,195	
当年度会費	2,800,000	3,200,000	会費会計より振替
前受会費	3,660,000	3,491,000	会費会計より振替
同窓会入金	1,320,000	1,320,000	
雑収入	134,526	29,805	受取利息、タックスレボ代
合計	13,680,000	14,900,000	

(支出の部)

項目	H16年度予算案	H15年度予算	備考
総会費	600,000	600,000	
会議費	150,000	200,000	理事会、役員会
交際費	70,000	70,000	
通信費	650,000	700,000	総会出欠はがき、会費振込用紙他
光熱費	80,000	140,000	
旅費交通費	100,000	120,000	
支払手数料	130,000	140,000	
雑給与	1,400,000	1,500,000	
コンピューター関係費	100,000	100,000	
事務用品費	150,000	200,000	
備品・消耗品費	180,000	180,000	書類類他
広報発行費	930,000	910,000	1回分
広報発送費	2,330,000	2,300,000	1回分、会費振込用紙他
ホームページ運用費	180,000	200,000	
周年同窓会お祝い金	500,000	500,000	
学校助成金	1,000,000	1,000,000	京大特別助成金他
慶弔費	80,000	80,000	
班活動奨励金	1,000,000	1,000,000	全国大会参加助成金他
各部会費	700,000	700,000	広報取材活動費含む
予備費	3,350,000	4,260,000	
合計	13,680,000	14,900,000	

努めます。総会の開催、各学年同窓会への協力、ゴルフ大会等交流会の開催を通じて同窓会活動の活性化に努めます。

○広報部会 年1回の発行となった同窓会報「JUNGIDO」を母校と同窓の校友を結ぶ絆として、また同窓の皆様方の情報交換の場として活用していただき、皆様に愛され、親しまれる紙面作りに努力いたします。

○組織部会 地域の組織、職域の組織の充実、各学年の同窓会活動への協力を図ります。

<http://www.dosokai.ne.jp/zezekoukou>
E-mail: zeze-h-dousoukai@poem.ocn.ne.jp

